

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2009年11月10日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2008000085"/> 整理番号 <input type="text" value="11259"/> 担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="タンパク質間相互作用の責任部位を同定し、相互作用の阻害剤をスクリーニングする方法"/>
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/>
適用製品	<input type="text" value="阻害剤スクリーニングキット, 阻害剤アッセイキット"/>
目 的	<input type="text" value="生体内で起こる重要なタンパク質間相互作用について、相互作用の責任部位を同定し、阻害剤をスクリーニングする技術を提供する。"/>
技術概要	<input type="text" value="本発明のスクリーニング方法は、以下のとおりである。タンパク質配列を細分化して、全てを融合タンパクとして作製し相互作用する相手方タンパク質との結合(相互作用)を定量化する。細分化したどの領域がどれだけ相互作用に寄与しているかを明らかにできる。相互作用の責任部位を絞り込み、責任部位同士の相互作用を定量化することにより、相互作用の阻害剤のスクリーニングに応用できる。この技術は、取り扱いの難しい膜タンパクの解析にも応用可能であり、この技術によりC型肝炎ウイルス非構造タンパク質であるNS3とNS4B(NS4Bは膜タンパク)との相互作用の責任部位が明らかになり、相互作用の阻害剤のスクリーニングが可能になった。この技術は抗HCV薬開発の新しい手段となる。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp